

第22回 独立行政法人地域医療機能推進機構東京城東病院地域協議会 議事録

日 時：令和8年3月18日(水) 13:30～14:00

場 所：3階第一会議室

出席者：外部委員	岩井江東区福祉部長、北村江東区保健所長、足川江東区医師会長、岸亀戸九丁目町会長
当院	中馬院長、濱野副院長、江口副院長、高橋事務長、茂木看護部長、石橋老健看護師長、佐藤管理課長補佐 藤田地域包括支援センター長は所用により欠席。
事務局	事務長補佐(総務企画)

【開会】

・院長の挨拶

皆様、年度末のお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。また平素よりご支援、ご指導いただきありがとうございます。

本日は皆さんから貴重なご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

・出席外部委員の紹介、当院委員の紹介を行った。

・協議会の写真撮影、議事内容をホームページ上に掲載することの了承を得た。

・東京城東病院地域協議会設置要綱第5条第2項に基づき院長が議長を行った。

議長の進行で議事に入った。

① 当院の運営状況について……事務長より説明

令和7年度1月までの下記について

・決算収支

・患者数等及び紹介率・逆紹介率、手術件数の推移

・健康管理センター受診者数

・令和8年3月2日(月)タワーホール船堀で東京城東病院地域連携の会を開催した。足川江東区医師会長はじめ江東区、江戸川区を中心に連携医療機関の先生方55名と沢山の参加をいただいた。第1部は当院の紹介および当院外科と整形外科の医師による講演。第2部の懇親会では意見交換会を行い、その中で当日出席した当院医師の紹介をした。出席者の方々と直接会話ができて情報交換が図られたことでより一層の連携を深めることができた。今後も継続開催して、さらに多くの連携機関の先生方に参加をお願いしたい。

② 介護老人保健施設の運営状況について……管理課長補佐より説明

令和7年度1月までの下記について

- ・入所者及び通所者の推移
- ・令和7年度の季節行事紹介
- ・今年度の避難訓練のうち、ひとつを垂直避難訓練とした。非常階段でシーツを使用し入所者の代わりに老健職員が移動するという避難訓練を実施した。今後は地域の皆さんの防災活動や、当院の防災活動に地域の皆さんに参加・協力をいただきたいと考えている。

③ 地域包括支援センターの運営状況について……事務長より説明

令和7年度1月までの下記について

- ・亀戸7～9丁目人口の推移
- ・総合相談件数
- ・介護予防ケアプラン発生件数

主な取り組み

- ・介護予防の取り組みとして東京城東ウォークを実施した。10月8日に第1回を開催した。当院を集合場所として準備体操を行い高架下の遊歩道を往復約30分歩くウォーキングを実施した。当院職員が見守り隊として協力し安全に実施することができた。その後月1回のペースで継続して開催し1回当たり約10名の地域住民の方に参加いただいた。参加者からは一人で歩くよりみんなで歩くと楽しい、元気になるなどの声が聞かれ身体機能の維持だけではなく交流の機会や孤立予防にもつながる取り組みとなっている。また継続して参加することで歩ける距離が伸びた方もいて運動習慣定着にも一定の効果があつた。2月には体力測定会を行い、これまでの取り組みの成果を確認することができた。
- ・9月17日に地域包括支援センターと病院の共催企画イベントとして「しっかり食べて元気に生活」を当院1階ロビーで開催した。30名以上の方が参加された。外科医長による不顕性感染肺炎の講話と管理栄養士による高齢期に必要な栄養素の講演に加えて言語聴覚士による嚥下体操の実演を行い、参加者からはわかりやすかったと好評をいただいた。地域包括支援センターでも江東区お口の元気チェック・大人の歯科検診・江東区健康診査の紹介を行い、参加者の健康意識の向上につなげることができた。
- ・10月20日に8050問題をテーマに地域ケア会議を開催した。80代の親が50代の子供の生活を支える課題事例をもとに支援の可能性、今後同様のケースが増加する中で必要となる社会支援について検討をした。当日はケアマネージャー、自治会、区役所や各介護事業者、訪問看護ステーション、当院等多職種の関係者に参加いただき、地域の課題について意見交換を行った。このような取り組みを通じて顔の見える関係づくりを進めながら地域全体で高齢者を支える体制づくりに今後もつなげていきたいと考えている。
- ・12月24日に当院でケアマネ交流会を開催した。亀戸東地域の居宅介護支援事業所から16名のケアマネージャーに参加いただいた。事例検討を通じてケアマネージャーはどこまで支援するべきか、もしケアマネージャーがいなかったらどうなったのかといったテーマについてグループワークを行い、本人・家族支援のより良いケアについて意

見交換を行った。ケアマネジャー同士の交流の機会にもなり地域での支援向上につながる取り組みとなった。

- ・地域包括支援センターの業務を進める上で、医療機関との連携が非常に重要であると日々感じている。今後も医療介護、地域の関係機関と連携しながら高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる地域づくりに取り組んでいきたいと考えている。

【質疑応答・意見交換】

足川江東区医師会長

- ・運営状況を見せていただいて、令和3年と4年はすごく良くて5年6年は厳しくて、私のところは令和3年と4年は厳しく5年6年は回復している。去年は落ち込んでいた。東京城東病院は周期では上がるはずですけど二人で落ち込んでいる。ここから先は見えないけど頑張っていくしかない。

中馬院長

- ・令和3年と4年が良かったのはコロナの補助金があったからです。補助金が無くなったので厳しい状態です。なんとか回復させていきたい。

北村江東区保健所長

- ・コロナの時は中馬院長にお世話になり助けていただいた。コロナの病院というところでは外来を開けていただいたので地域の方も喜んで私たちも助かりました。コロナはいろんな意味で病院の経営もそうですし医者的人生も色々変わったといえますか、東京都の公衆衛生医師の20%は辞めたか具合が悪くなってまだに復帰できていない。保健所でも心の病になって働けない職員が数名いるというくらいかなり衝撃的な出来事でありました。あれだけの打撃あったので復活はなかなか難しい。

健診に関しましては区民が大変お世話になっております。区民健診やがん健診では大変お世話になっておりまして今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

コロナはさほど話題にならないですが、皆様マスク等でご覧になっていると思いますが、空気感染の麻疹が増えてきています。東京都は全体数しか発表していませんが江東区内も増えています。

岩井江東区福祉部長

- ・地域包括支援センターで地域の方がお世話になっておりありがとうございます。来年度予算の中で、福祉関係でいくつか話しますと、最近問題として問われるのが単身高齢者で、色々な場面で困ることがある。例えば、意思決定ができない状態の方がいるので日常支援関係の事業に今後取り組まないといけない。その中で電球をつけて何時間か動かないと登録したところへ連絡がいく事業を始めたい。また健康な人を外に出しましょうと、東京都が外出支援で都営バス等のシルバーパスの料金を下げた。江東区でも4月以降補助をして非課税者は年間千円、収入のある方は年2千円でシルバーパスが購入できるようになります。元気な高齢者が外に出ることを目的にしています。引き続き江東区の福祉関係事業にご協力をお願いいたします。

岸亀戸九丁目町会長

- ・色々なイベントで皆さんご苦勞なさっていると思いますが、患者さんは喜んでいてと思います。感謝しています。ありがとうございます。

岩井江東区福祉部長

- ・先程見守り電球の話をしていましたが、東京都水道局もスマートメーターを勧めている。水道メーターに通信機能を付けて丸一日動かなかったら登録者へメールが送信される検針機器に取り替えを進めている。2030年度以降には単身高齢者住宅で活躍できる。

【閉会】

- ・院長の謝辞

本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。

皆様から今日頂いたご意見は病院の運営に活かしていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いします。

本日はありがとうございました。

- ・次回開催は9月を予定している事、近くになりましたら案内文を発送する事をお伝えした。
- ・東京城東病院地域協議会を閉会した。